

いいよね

駒ヶ根

行ってみよう

▲美しい花が咲きこぼれる夏の千畳敷カールと宝剣岳

磐田市と駒ヶ根市は「霊犬しっぺい太郎（駒ヶ根市では早太郎）の伝説」を縁に、昭和42年1月12日に友好都市提携が結ばれました。これを機に老人クラブや商工会議所など各種団体をはじめ多くの市民が相互訪問を行うなどして交流の輪を広げています。

霊犬伝説が結ぶ両市の縁

また「全国住みよさランキング」では、毎年上位にランクするほど魅力あふれるまちです。

駒ヶ根市は長野県の南部、伊那谷のほぼ中央に位置し、東に南アルプス（赤石山脈）、西に中央アルプス（木曾山脈）の3千メートル級の山々を望むまちです。千畳敷カールや駒ヶ根高原など自然あふれる駒ヶ根市には、四季を通して県内外から多くの観光客が訪れています。

アルプスがふたつ映えるまち

今年1月、磐田市と長野県駒ヶ根市は友好都市提携50周年を迎えました。これまで両市民が深めてきた友好の絆。さらにその交流の輪を広げるため、駒ヶ根市を訪れてみませんか。



市の虫
ハッチョウトンボ



市の花
スズラン



市の木
アカマツ



市章

駒ヶ根市

データ



磐田から車で
約3時間

面積 / 165.86km²
人口 / 32,566人
平均気温 / 11.8℃
年間降水量 / 1619.0mm
(平成29年3月1日現在)

駒ヶ根市PRキャラクター

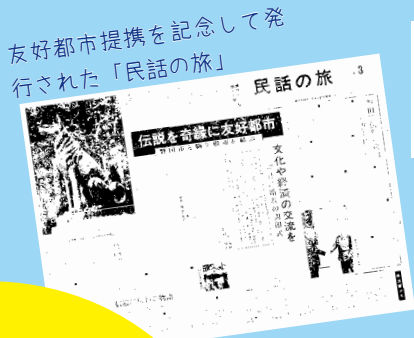


天竜川のかっぱ伝説がモチーフ。中央アルプスをかたどった帽子と桜のポシェットを身に付け、市内外のイベントに参加しています。



駒ヶ根市との 友好の軌跡

50年の主な出来事



昭和58年10月
台風10号集中豪雨の災害復旧のため、市職員を駒ヶ根市へ派遣

平成7年9月1日
阪神・淡路大震災を教訓として災害時相互応援協定を締結

アルプスの麓から来たカップパたち

20周年を記念して、つつじ公園に「駒ヶ根・赤松の森」、駒ヶ根市の古城公園に「磐田の森」を整備



昭和42年1月12日
駒ヶ根市と友好都市提携

平成4年、25周年を記念して、安久路公園に「こまがねの森」を整備。30周年には記念モニュメントを設置

平成9年4月
30周年を記念して駒ヶ根市民が天竜川をカヌーで下り、遠州見付宿場まつりで交流

昭和42年

昭和52年

昭和62年

平成9年

平成19年

平成29年

交流の思い出

仲間と共に歩いた4日間

平成8年、磐田市青年団連絡協議会の青年たちが駒ヶ根市までの約180*を4日間掛けて歩き、駒ヶ根の青年たちと交流しました。当時会長だった磯部将紀さんは「ハプニングもあり大変だったけど、仲間と一緒にだったし、駒ヶ根の皆さんに温かく迎えてもらい、とにかく楽しかったという記憶しかないですね」と20年前を振り返りました。訪問を機に、その後も駒ヶ根市のサンバカーニバルに参加したり、一緒に富士登山したりして交流を深めたそうです。



▶「楽しい思い出」と語る元団員の(左から)松島伸幸さん、磯部さん、真下民子さん

1月20日
杉本幸治駒ヶ根市長とこまかつぱがしっぺいのお誕生日を祝福



友好50周年の交流事業もスタート!

しっぺい太郎伝説

その昔、見付の町では旧暦8月初めになると、どこからともなく白羽の矢が飛んできて、若い娘のいる家の軒高く突き刺さりました。その家では娘を白木の箱に入れ、8月10日の真夜中に見付天神へお供えしなくてはなりません。その夜天地鳴動とともに化け物が現れ、娘をさらっていくのです。人々は泣く泣くこの習わしを続けていました。

祭りの夜、見付にやってきた旅の僧がこの話を聞いて哀れに思い、ひそかに社殿に潜んで様子をうかがっていると化け物たちが「信濃のしっぺい太郎に知らせるな」と話すのを聞きました。早速、僧は信濃の国へ旅立ちました。訪ね行くとしっぺい太郎は、光前寺に飼われている猛犬だと分かり、僧はしっぺい太郎を借り受け見付に戻りました。

翌年の祭りの夜、娘の代わりに白木の箱に入ったしっぺい太郎は、怪物に飛び掛かり、長い格闘の末に怪物を退治しました。怪物の正体は大きな老いたヒビでした。戦いで傷ついたしっぺい太郎は光前寺までたどり着き、息絶えたと伝えられています。



▲名刹宝積山光前寺。境内の庭園は国の名勝に指定されています

700年におよぶ友好の歴史

友好都市提携50周年を迎えた両市の交流は、約700年前から行われています。

史料によると鎌倉時代後期の正和5年(1316年)に矢奈比売神社ゆかりの一実坊という僧が、現在光前寺が所蔵する大般若経六百巻を納めたとされています。また江戸時代の安政7年(1860年)に光前寺でしっぺい太郎五百五十回忌が行われた時の勸進簿には、矢奈比売神



▲しっぺい太郎の像(矢奈比売神社)

社の神主をはじめ見付の人たちの名前が記されていることが確認されています。

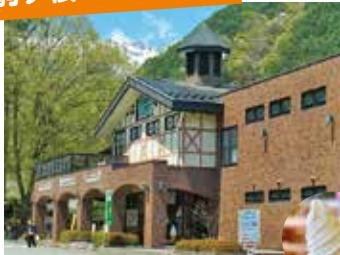
昭和に入ってから、光前寺への参詣(光前寺講)を中心に毎年100人近くの磐田市民が駒ヶ根市を訪れていました。

さあ、こまがねに出掛けよう

四季折々の美しい風景が魅力の駒ヶ根市。
自然豊かな駒ヶ根市で、体も心もリフレッシュしませんか。



駒ヶ根ファームス



ミルクが濃厚★

駒ヶ根の名産品や地酒、農産物などを買うことができます。隣接のすずらんハウスでは、信州牛の牛乳やソフトクリームなどを食べることができます。

駒ヶ岳ロープウェイ

450秒の空中散歩

千畳敷カールまで架けられた日本初の山岳ロープウェイ。1年中運行しています。終点の千畳敷駅は日本最高所(2612m)にあります。



中央アルプス 千畳敷カール

千畳敷カールは地表が氷河に削り取られすり鉢状になった地形で、夏は約150種の花が咲き誇ります。遊歩道が整備されトレッキングを楽しめます。

駒ヶ根の美しい自然と
伝統文化を見に行こう



大宮五十鈴神社の「三國一」



毎年9月下旬に三國花火を奉納する「三國一」は全国から見物客が訪れるほど圧巻の迫力です。

駒ヶ池



池のほとりから中央アルプスの宝剣岳や千畳敷カールが眺められます。

おもしろかっぱ館

かっぱをモチーフにした建物だよ



駒ヶ根に伝わるかっぱ伝説の資料やかっぱをテーマにした彫刻、絵画などの文化芸術作品を展示。

森と一体になれる



川遊び

全長146mのつり橋「こまくさ橋」

清流・太田切川は地元でも人気の川遊びスポット。上流に架かる「こまくさ橋」からは両アルプスの眺めを堪能できます。



ツリークライミング

専用のロープや安全帯を利用して木に登る今注目のアクティビティ。

クライミングウォールに挑戦だ!

森と水のアウトドア体験広場

自然の森林や山野草の庭、清流などに親しめる公園とスケートボードパーク、フリークライミングウォールなどのスポーツ設備を備えた広場です。



初心者もOK!

スノーシュー

地元のプロガイドと駒ヶ根高原バージンスノーの森をスノーシューで巡ります。

友好都市提携 50周年 記念イベント



今後行われる主なイベントを紹介します。

- ★友好都市 50周年記念ぬり絵・絵画展
7月8日(土)～9月10日(日)
磐田市情報館 (ららぽーと磐田1階)
※作品募集は8月20日(日)まで
- ★友好都市提携 50周年記念式典
7月30日(日) 駒ヶ根市
- ★親子 de 駒ヶ根バスツアー
8月上旬 駒ヶ根市
※申し込みなど詳しくは磐田市観光協会
(☎0538-33-1222)へ
- ★駒ヶ根市民によるアカウミガメ放流
9月10日(日) 遠州灘海岸
- ★全国軽トラ市に駒ヶ根市から参加
10月29日(日) JR磐田駅前ジュビロード

しっぺい&こまかっぱの動画を制作中!



いわた&こまがねフォトコンテスト

磐田市と駒ヶ根市で撮影した美しい風景や笑顔あふれる写真を募集します。応募方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。

いわたこまがねフォトコンテスト



もっと詳しいことを知りたい...
そんなときは
**駒ヶ根の
観光総合パンフレット**
をご覧ください。

パンフレットは磐田市役所、磐田市情報館の他、パソコンなどからダウンロードしてご覧いただけます。

駒ヶ根ガイド パンフ



シャキシャキキャベツと
ボリューム満点の豚かつ

駒ヶ根名物を
いただきます



B級グルメとして人気の高い駒ヶ根ソースかつ丼。郷土食の代表信州そばや五平餅。清らかな水と空気ですべて育つ果物は、品質も良く、秋には果物狩りで甘みずみずしい果物を味わえます。

駒ヶ根ソースかつ丼

五平餅



果物



信州そば

工場見学

駒ヶ根市では中央アルプスの雪解け水を利用して、多種多様なお酒が造られています。市内には見学できる工場があります。

※10人以上は予約が必要



養命酒製造駒ヶ根工場

☎0265-82-3310

受付9:00～16:00



マルス信州蒸溜所

☎0265-85-0017

受付9:00～15:30



温泉



温泉に入っのんびり

駒ヶ根高原にある早太郎温泉郷のお湯は「美肌の湯」といわれ、無色透明でにおいが無く、肌がしっとりすべすべになると評判。気軽に立ち寄れる日帰り温泉施設もあります。美しい山々を眺めながら入るお湯は格別です。

泉質/アルカリ性単純泉
効能/筋肉痛、神経痛、美肌効果など

